

新潟県剣道公報

kenren 108

加藤 勉 両書



五泉高校剣道部潜入報告！！

令和3年度のインターハイで活躍した五泉高校女子剣道部。

団体戦、個人戦ともにベスト8という成績でした。

部員の皆さんは、大会にはどう臨んだのでしょうか。

今大会経験者の2年生が残る中で、次期大会の目標や

3年生の感想などについても聞きました。

インタビューには、3年生の山浦 仲さんと本間眞琴さん、

2年生の長澤彩紗さんから代表で答えていただきました。

① (長澤さん) 剣道を始めたきっかけと
五泉高校へ入学された動機をお聞かせください。

剣道を始めたきっかけは自分の姉が剣道をやっている
その影響で始めました。またその姉と道場の先輩が藤
塚先生に習っていて、その活躍する姿を見て五泉高校
に入学して日本一を目指すという気持ちで入りました。

② (長澤さん) ズバリ剣道の魅力を教えてください。
技術と体力の向上だけではなく、心も一緒に成長でき
る「人間形成」が大きな魅力だと思います。

③ (長澤さん) まだ二年生ですね。トーナメント表の
上位8名を見ると三年生、二年生と半々。
来年に向けて一言お願いします。

来年は、日本一になって今までお世話になった方々に
恩返しができるようにこれからも稽古を頑張ります。

④ (部長の山浦さん) インターハイ団体戦、2019年
にその年に優勝した「中村学園女子高校」に五泉高校
が敗退し、3位という結果は知っておられたと思いま
すが、今回、その相手と、再び 当たり、どんな気 ➡

令和四年の年頭にあたって



一般財団法人 新潟県剣道連盟
会長 浅原 行雄

明けましておめでとうございます。

会員各位におかれましては令和四年の新年をご健勝にお迎えの事とお慶び申し上げます。



コロナ禍の影響が秋風の便りが届く頃から年末に近づくにつれ、ワクチン接種が行き届いた影響か県内は下より全国的にも感染者数が徐々に減り始め一昨年来の不安が少し和らいだ気持ちで新年を迎えられたように思います。医療従事者の方始め、未だその影響で思うように稽古の出来ない職域の方、或いは制約を受けている方も多中、剣道、居合道共に各地域の青少年の育成と自身の技量の向上、昇段に向けた講習会、そして昇段審査会と積極的に参加して頂きまして洵に有り難う御座いました。又、各事業担当の皆様には昨年は大変なご苦労とご面倒をお掛けしましたが、本年は新型コロナウイルス感染症の影響が改善して活動し易

く成る事を願い、昨年にも優る協力を宜しくお願い致します。昨年は上越市の謙信公武道館で7月2日～4日に居合道七・六段昇段審査会並びに東日本地区講習会が行われました。また、翌月の21日・22日には同会場で11年振りに新潟県で剣道七・六段昇段審査会が行われ、本県からも多く受審され合格者ができました。今年も同会場で8月行われる予定です。多くの会員が積極的に各講習会等に参加して昇段審査に挑戦される事を期待しています。剣道大会の開催に付きましては一般会員の大会は、ほぼ通常通りに戻りつつありますが、幼少年剣士が参加する大会が数多く中止となり、「運動離れ、剣道離れ」に拍車が掛らぬ様にと心配しているところです。中学生、高校生の全国大会が開催されて活気が戻りました今年こそ優勝・入賞者がより以上に出る事を期待しています。また、諸事情により暫く大会等への出場から遠ざかっておりました警察官も昨年11月23日の全日本都道府県対抗剣道優勝大会予選会から参加されて安堵しています。

末筆になりましたが一年間、或いは二年間延期になった各地域の大会もありますが穏やかに大会・行事等が開催できるように又、新型コロナウイルス感染症が治まり希望を膨らませる普通の生活に戻れるように祈念致しまして年頭の挨拶とさせていただきます。



▶ 持ちで挑みましたか？また藤塚先生のアドバイスはありましたか？

自分が一年生の時に中村と戦った時は、結構まだ力の差があるというか…あの頃は全然…「勝とう！」と言うよりは、もう結果が出ていたので…みんな最後まで力を出し切ろうという思いでした。今回は中村と戦って勝つことが目的だったので、まずは力を出し切ろうという思いでしたが、中村と戦えたことがすごく嬉しかったです。そして、戦った時に絶対勝てるように色々相手の特徴などを分析し研究したつもりでした。それでも自分たちは負けてしまったんですが、我々三年生は再び戦えた試合の思い出として、この先も心はずっと残る試合だったと思います。試合の前の藤塚先生は、我々に「やり切れ！」その一言でした。

⑤ (山浦さん) インターハイ後に、北信越ブロックのいわゆる「ミニ国体」で見事に本国体の切符を掴みとりながらも、ほぼ同時にコロナ拡大の中でまさかの

中止となってしまいました。気持ちの建て直しはできましたか？

試合の前日に既に「中止」になるかもしれないみたいな情報はありました。逆に、最後だからこそ力を出し切ろうという気持ちに変わったと思います。四年ぶりに先生を喜ばせたかったというのもあり、それが大きかったように思います。

⑥ (山浦さん) 部活をする中で、大事にしていることやチームをまとめるコツ等ありましたら教えてください。

自分たちは、一人一人個性が強すぎて(笑)、まとめるということは難しかったんですけど、先輩後輩がとても仲が良かったので、その中でもオンとオフを使い分けてやれたことが良かったと思うし、自分が頑張ったというより、まわりが支えてくれたからこそ日々稽古に励むことができたんじゃないかと思います。

⑦ (副部長の本間さん) 1月の県の高校選抜で優勝し、

都道府県対抗女子に出場決定。今年の夏も優勝を狙ってはいたかと思いますが3位でした。しかし、北信越大会では個人優勝という快挙でしたが、その原動力を教えてください。

県大会では本当に個人戦においては悔しい思いをしましたが、北信越大会は自分にとって個人戦は最後の試合だったので、優勝を絶対するぞという気持ちは確かにありました。自分ができることをしっかりやり切って、悔いのないように終わろうと思って試合に臨みました。同時に今までお世話になった方への恩返し、自分だけでできる恩返しはそこでしか無かったので、もう最後はやり切ってやろうと自分自身に言い聞かせました。

⑧ (本間さん) これから剣道をやりたいという人に何かアドバイスなど一言お願いします。

剣道は、人それぞれ色々な楽しみ方を見つけることができる競技だと思うので長く続けて行く上で自分なりの楽しみ方を見つけたいと思います。



⑨ (山浦さん、本間さん) 三年生お二人に質問です。今後の「夢」を聞かせてください。

山浦：正直、自分では全国大会に出ても、まだ力が出し切れていないというを感じています。進学しても剣道は続けもっと強くなりたいと思っています。

本間：自分自身のパフォーマンスの向上も目指しながら、今までお世話になった方々への恩返しも段々していけたらいいなと思います。

⑩ (山浦さん、本間さん) 3年間の思い出と感謝の言葉などありましたらお願いします。

山浦：インターハイ後の夜に今までセーブしていた諸々なことを解禁でき、達成感というか、最後の仲間との夜は楽しかったです。そして五泉高校へ入学してホントに良かったという喜びと、藤塚先生、犬飼先生にご指導いただいたことに感謝しています。

本間：自分は本当に剣道が弱かったので、チームメイト、家族、藤塚先生、犬飼先生に支えていただいたことに、ただただ感謝しかないです。

○×クイズ わかるかな？ 君は審判員だ！！

有効打突の判定および禁止行為についての取り扱いを示したものです。

正しいものには○、誤っているものには×を。さあて… (答えは裏ページ下です)

Q1 赤の面打ちに対して、白がこれを右小手で避けた。白の右小手を捉えたので「小手あり」として有効打突とした。

Q2 倒れた者に、一呼吸置いた後の打突も有効打突になる。



Q3 竹刀を落とした者に、直ちに加えた打突は有効打突になる。

Q4 一方が、場外に出ると同時に加えた打突は有効打突にならない。

Q5 3人の審判員は表と裏の位置関係にあるが、一番よく見える位置の審判員の判定に追随すべきである。



Q6 竹刀が回っていることについて、主審が気付かずにいたので副審が「止め」を宣告して、主審に知らせた。

Q7 明らかな反則行為があったにもかかわらず、主審が気付かなかつたり見えなかつたりした場合、副審は「止め」を宣告することができる。

Q8 境界線でもつれて、どちらか一方が場外に出るまで待ち反則を取った。

Q9 被打突者の剣先が打突者の上体前面に付いて、その氣勢や姿勢が充実していると判断した場合は、有効打突とならない。

Q10 片足が場内、もう一方の足が境界線上にあっても場外反則となる。



インターハイ男子団体優勝校に新潟出身者が....!

インターハイ男子団体優勝の九州学院高等学校。

そのメンバーの中に上越市立直江津東中学校出身の長谷川大雅選手がいました。

中堅という試合の流れに大きく関わるポジションで団体優勝に貢献した彼の素顔に迫ってみました。



熊本新聞 提供

夢をかなえるために遠くの学校に入学しましたが、新型コロナ禍で試合が昨年からできない状況下で、どう考えていましたか。

稽古もできず上越に何か月か帰っていました。その時、当たり前剣道ができる環境は、幸せな環

境なんだと思います、稽古や試合の再開に向け体を鍛えようと前向きに考え、走ったり素振りをしたり、自分は体重が少ないと言われていたので、食事に気を付けたりと次に向け準備をしていました。

昨年、ミライモンスターという番組で、1年先輩を中心に地獄の特訓と言われる厳しい稽古が放送されましたが、普段の稽古は苦しい稽古ですか。

体を鍛える鍛錬の月というのが年に何回かあって、それが放送されました。普段は苦しい稽古はほとんどなく、頭を使うことや体を鍛えることが中心です。頭を使うというのは、例えば、試合の場面に置き換えて、どうゆうふうになれば打てるように仕向けることができるか、どういう試合づくりをしていくかということです。考え次第で結果が変わってきます。日々の生活に剣道はつながるということで、学校生活もよくないといけない、剣道も生活面も両方大事と先生に言われています。

今回のインターハイに対して、どう取り組んでいましたか。

春の選抜では、2回戦で負けました。その時は、負けたらどうしようと自信のない気持ちで臨んでいました。その後の練習試合では、一戦一戦どう戦うべきか考えて取り組み、そのことが自信につながっていきました。インターハイの直前では試合が楽しみで楽しみで、勝つ自信しかありませんでした。

一戦一戦どうすべきか考えて取り組むとはどういうことですか。先生はどう教えてくださいましたか。

先生は自分の考え方を押し付けるのではなく、考え方のバリエーションを話してくれます。

試合は確率の問題で、場面場面で違ってはきますが、例えば、相手が面を打ってきたら、出小手か返し胴かすり上げ面か、ということになりますので、一本になる確率が高いのは何かということです。難しいことをやるのではなく、返し胴が一番やりやすい場面なら、自分から仕掛けて返し胴を打つというように、何が確立が高いかということを考えます。

インターハイでは負けなしでしたが、心掛けたことは何ですか。

試合前はみんなで、勝気でいこうと話しました。自分としては攻めるということ。得意の面を決めるために、どう攻めるかを考えて試合をしました。

インターハイで勉強になったことは何かありますか。

今までやってきた普段どおりのことを大会で出すには、しっかり準備しないと自信もなくその日を迎えることになるので、準備が大切だと思いました。毎日の積み重ねが準備になります。その一つとして、自分はその日の反省などを、剣道ノートに書いています。

優勝の感想を教えてください。

試合が終わっても実感がなくて、嬉しさはありましたが、やっと終わった、ホッとしたという気持ちでした。親元を離れて遠くへ来ましたが、結果を残せて良かったと思いました。

寮に入っていますが、優しい先輩、かわいい後輩で楽しい学校生活を送ることができ、九州学院に入学して良かったと思いました。



前列一番右が長谷川選手



第56回 全日本居合道大会

期日：令和3年10月9日（土）
会場：東京武道館

総合成績 新潟県 第2位

個人成績 七段の部 第1位 大西 伸和（新潟県）
六段の部 第2位 草間 大介（新潟県）

【優勝した大西選手の喜びの声】

今回の大会に向けては、新型コロナウイルス感染症拡大により、強化練習ができなかったこと、開催地の東京が直前まで緊急事態宣言が出されていて本当に開催されるのかどうか不透明であったことなど、これまでとは違う準備をしなければならない難しさがありました。そのような中でも七段の部で一位、都道府県対抗でも二位を取ることができましたのも、ひとえに県剣道連盟、居合道部会会長・草間純市先生、地元柏崎の品田峯雄先生、渡邊尚久先生、品田賢一郎先生をはじめ、県内の先生方のご指導と、居合道を志す皆様のお力添えがあったからです。本当にありがとうございます。この結果に甘んじることなく技と心を磨き、さらなる目標に向かって励んでまいります。



「コロナ禍バネに若手が成長 2021年総括」

昨年もまたコロナに明け、コロナに暮れた1年でした。その中でも2年目ということもあり、コロナ対策に様々な工夫を凝らして事業実施を図り、幾つかの大きな成果を得ることができました。

その一つは、10月に東京都で行われた全日本居合道大会で、県代表選手は七段の部で大西伸和選手（柏崎）が優勝、六段の部で草間大介選手（光明館）が準優勝、団体総合で神奈川県に次いで2位という好成績を取めたこと。強化練習もままならない中、監督・選手はモチベーションを維持するため大変な努力を余儀なくされての成果でした。

二つ目は、7月に上越市・謙信公武道館で行われた全剣連主催・新剣連主管の中央・地区居合道講習会を成功裏に終えられたこと。

同時に行われた審査会で県内から七段4名、六段2名が合格しました。

三つめは、コロナ禍で一昨年はほとんどの事業ができなかったのに対し、昨年は講習会4回、審査会2回のほか、試合方法を工夫するなど県大会も開催することができました。

四つ目は、これが最大の成果かもしれませんが、困難な状況を通じて若手の進出が目立ち、世代交代が順調に進んでいることです。その意味では、コロナ禍が若手のエネルギーと柔軟な対応力を引き出し、成長を促しているように思われます。

居合道部会 事務局長 駒形 健一



第67回全日本東西対抗剣道大会に出場

剣道教士八段 高橋 直志

それは剣道家にとっての夢舞台。なぜなら、全日本剣道連盟が主催する3大大会（選手権、都道府県、東西対抗）の中で、この大会だけは「勝っても出られない」つまり、全剣連から選ばなければ出場することができない大会だからです。大会の趣旨は、「剣道の真価を示すものとして全国を東西に二分し、各層における卓越した剣士を選抜して対抗試合を行うものであり、昭和15年2月に始まった由緒ある大会（紀元二千六百年奉祝天覧武道大会）を継承して、全剣連設立以来開催している。」とあります。このような大会に何ゆえ私が選ばれたのか、いまだに謎ですが、新潟県剣道連盟のご推挙があったことは言うに及ばず、おそらくはこれまでの各種大会や講習会等を通じ、気にかけてくれる先生方が選考委員の中にいらっしやっただけでしょう。

さて、私にとっての東西対抗は、平成20年に岡山市で開催された第54回大会以来、2度目の出場です。前回の出場は七段の時、3度目のアキレス腱断裂による再腱手術から6年目のことでした。ただ、残念ながら当時の私には過分なる大舞台。私の前が栄花英幸先生、私の次が宮崎正裕先生であったことを思えば、いかに超一流の先生方が集う大会であったかが分かります。宮崎先生がガチガチの私を気遣い、随分と話しかけてくれたことを思い出します。結果は完敗し、己の不甲斐なさを痛感した大会となりました。

あれから13年、八段になり、再び東西対抗の舞台を踏めるとは思ってもみませんでした。ただ、さすがにこの年齢になると経験値もそれなりに上がり、凶太

くなっていますし、見知った仲間も多数出場していましたから心強く、心地よい緊張感を存分に楽しむことができました。それでもやはりそこは夢舞台。私の出番が近づくにつれ胸の鼓動は高鳴ります。更にちょっとしたハプニングも。通常、前の人が試合を始めるタイミングで畳に入り、双方礼を交わして面を着けだすのですが、私の前の方が1分程で試合を終えられてしまったため、慌てて面を着け、すぐに立合いへ。気持ちがまとまらぬまま試合が始まってしまいました。北辰一刀流で言うところの『露の位』でグッと溜め、攻め勝ったところで『石火の位』をもって外連味の無い捨てきった技を繰り出し、『梵鐘の位』で余韻を残す。そんな格調高い試合を予定していたのですが、開始早々攻め込まれ、小手から渡られ、面を決められてしまいました。そこでようやく我に返り、今度はこちらが先を掛け、相手の起こりを捉えて小手！心地良い感触が諸手に伝わってきました。いざ勝負！一進一退の攻防が続く、瞬く間に延長戦へ突入。「そろそろ決着を着けないと、観戦している方々にあくびをされてしまう。」そんな思いが脳裏をよぎり、諸手突きで勝負に出ました。突き垂を運よく捉え、勇んで残心をとるも旗は挙がらず、ここで気持ちが切れました。最後は雑な攻めから不用意な面に跳び込み、小手を決められ試合終了。情けない結末を全国にさらしてしまいました。

試合後、東軍監督の中田琇士範士から「八段審査の立ち合いを思い出せ！稽古不足！」という胸にズシリと突き刺さるお言葉を頂きました。私にとっては、お

そらく最後となる東西対抗で、今後、自分が進むべき方向性がしっくり掴めた大会になりました。「全国の先生方から、また思う存分稽古を頂きたい。」一日も早くそんな日常に戻ることを待望し、大分の地を後にしました。



16位	15位	14位	13位	12位	11位	10位	9位	8位	7位	6位	5位	4位	3位	副将	大将	得点
栃木 新沼	埼玉 保坂	東京 平尾	東京 矢野	福井 川野	千葉 岩切	神奈川 高野	千葉 榊	神奈川 有馬	秋田 湯澤	北海道 栄花(英)	北海道 大河内	愛知 恩田	愛知 東	愛知 古川	北海道 北条	得点
安良	高橋(直)	保坂	平尾	矢野	川野	岩切	高野	榊	有馬	湯澤	栄花(英)	大河内	恩田	東	古川	勝
コ	コ	コ	コ	コ	コ	コ	コ	コ	コ	コ	コ	コ	コ	コ	コ	勝
コ	コ	コ	コ	コ	コ	コ	コ	コ	コ	コ	コ	コ	コ	コ	コ	勝
米田	寺園	大内	八木	山崎	三股	藤井	清田	國友	山中	佐伯	吉田	長納	稲富	重松	大城戸	勝
熊本 熊本	奈良 奈良	大分 大分	愛媛 愛媛	大分 大分	山口 山口	和歌山 和歌山	福岡 福岡	広島 広島	宮崎 宮崎	大分 大分	兵庫 兵庫	佐賀 佐賀	滋賀 滋賀	愛媛 愛媛	得点	
16位	15位	14位	13位	12位	11位	10位	9位	8位	7位	6位	5位	4位	3位	副将	大将	得点

11年ぶりに全剣連昇段審査会実施

会場は県立謙信公武道館

全日本剣道連盟主催の六・七段審査会が、去る8月21日と22日に、上越市の県立謙信公武道館で開催されました。当日は審査員となる8段の先生方が来県され、2日間の審査に臨まれました。受審者は北は北海道、南は九州から参加し、緊張漂う中、昇段を目指し気合の入った大きな声が館内に響いていました。

毎年東北の各県持ち回りで行われている地方での審査会は、昨年度の長野県に続いて本県では11年ぶりとなりました。上越市に前日入りした受審者もあり、会場となる県立武道館では、下見の人が入り口を確認したり駐車場に止めた自分の車の脇で素振りをしたりするなどの姿が見られていました。

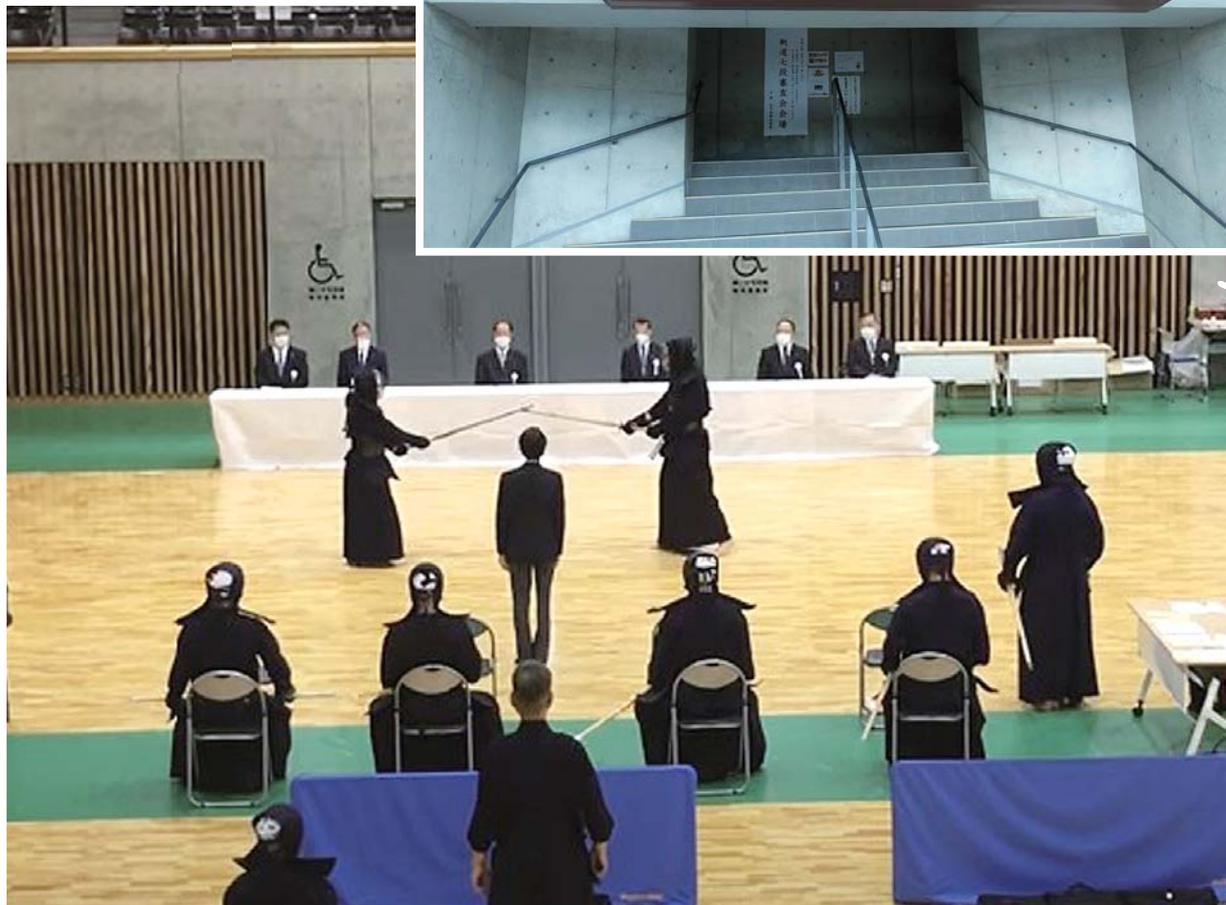
審査会の受審者数は、六段529人、七段520人でした。入り口での検温の後、指定された年齢別に受付が行われました。大道場には実技審査6会場が設けられ、また、形審査会場は小道場となりました。新型

コロナ禍であることから受審者は密を避けるために、午前と午後の部に分かれ、また、会場観覧席には受審者以外は入れず、さらに座席も密にならないよう開けて座るよう指示がされていました。

上越市剣道連盟を中心に 周辺市の剣道連盟も応援

新型コロナ禍の中で、開催が危ぶまれましたが、開催の1か月前の7月に具体的な打ち合わせが行われました。準備期間が短い中で、毎年恒例の夏期講習3日間と新剣連主催の昇段審査会、恒例の謙信公祭武道大会も8月に開催する中で、突貫で準備が進められました。

スタッフは2日間で延べ約80人必要でしたが、新型コロナ禍の中ではこの人数を集めるのは困難で、隣の糸魚川市剣道連盟や柏崎市剣道連盟からの応援もいただきました。



■試合結果の報告

第13回 全日本都道府県対抗女子剣道優勝大会

期日：令和3年7月10日（土）
会場：ジェイテクトアリーナ奈良

新潟県	1 (1)	—	4 (7)	岐阜県
-----	-------	---	-------	-----

第68回 全国高校総体



期日：2021年8月9日（月）～8月12日（木）
会場：石川県金沢市いしかわ総合スポーツセンター

▷ 男子団体戦 予選リーグ（Nグループ）

チーム名	①	②	③	順位
①福岡第一（福岡）		○1-1	○2-2	1
②新潟明訓（新潟）	×1-1		△1-1	3
③いわき総合（福島）	×2-2	△1-1		2

新潟明訓 予選リーグ敗退

▷ 女子団体戦 予選リーグ（Cグループ）

チーム名	①	②	③	順位
①五泉（新潟）		○3-1	○3-0	1
②健大高崎（群馬）	×1-3		○2-0	2
③佐賀女子（佐賀）	×0-3	×0-2		3

五泉 予選リーグ1位

▷ 女子団体決勝トーナメント1回戦

× 明豊（大分）	1-3	○ 五泉（新潟）
----------	-----	----------

▷ 女子団体準々決勝 / ベスト8

○ 中村学園女（福岡）	2-0	× 五泉（新潟）
-------------	-----	----------

五泉女子 ベスト8



▷ 男子個人戦 1回戦

× 中島 葵（鹿児島工業）	—ド	○ 近藤 創太（新潟商業）
---------------	----	---------------

▷ 男子個人戦 2回戦

× 安田 祐也 (島 原)	メ - メメ	○ 長谷川 功成 (新潟商業)
○ 弓倉 晃太郎 (東 山)	メ -	× 近藤 創太 (新潟商業)

▷ 男子個人戦 3回戦

○ 前田 健心 (中 京)	メメ -	× 長谷川 功成 (新潟商業)
---------------	------	-----------------

▷ 女子個人戦 1回戦

○ 石島 蒼依 (宮崎日大)	メ -	× 山浦 伸 (五 泉)
× 青柳 優希 (小 山)	- メ	○ 長澤 彩紗 (五 泉)

▷ 女子個人戦 2回戦

× 丸山 幸穂 (和歌山東)	- ド	○ 長澤 彩紗 (五 泉)
----------------	-----	---------------

▷ 女子個人戦 3回戦

○ 長澤 彩紗 (五 泉)	メ -	× 櫻井 有香 (高千穂)
---------------	-----	---------------

▷ 女子個人戦 4回戦 / ベスト 16

○ 長澤 彩紗 (五 泉)	コ -	× 國分 凜華 (久留米商業)
---------------	-----	-----------------

▷ 準々決勝 / ベスト 8

○ 生出 琴華 (島 原)	メ -	× 長澤 彩紗 (五 泉)
---------------	-----	---------------

長澤 彩紗選手 (五泉) ベスト 8

第51回 全国中学校剣道大会



期日：令和3年8月20日(金)～22日(日)
会場：神奈川県川崎市とどろきアリーナ

▷ 女子団体戦 グループK

諫早市立諫早中学校 (長崎) シード	鈴鹿市立神戸中学校 (三重)	新潟市立石山中学校 (新潟)
--------------------	----------------	----------------

① 石山	1 - 2	神戸	② 諫早	1 - 1	神戸
------	-------	----	------	-------	----

諫早本数勝ちトーナメントへ (惜敗)

▷ 男子団体戦 グループB

新潟市立石山中学校 (新潟) シード	松阪私立嬉野中学校 (三重)	加古川市立加古川中学校 (兵庫)
--------------------	----------------	------------------

① 嬉野	1 - 3	加古川	② 加古川	3 - 2	石山
------	-------	-----	-------	-------	----

加古川トーナメントへ (惜敗)

※ 男女ともにグループからのトーナメント進出ならず。

▷ 女子個人戦 1回戦

× 石井 あいら (新潟県)	メ - メメ	○ 布施 虹南 (秋田県)
----------------	--------	---------------

▷ 女子個人戦 2回戦

○ 佐藤 愛海 (新潟県)	コメ - メ	× 桐山 咲良 (山口県)
---------------	--------	---------------

▷ 女子個人戦 3回戦

○ 佐藤 愛海 (新潟県)	ココ - メ	× 定仲 桜 (奈良県)
---------------	--------	--------------

▷ 女子個人戦 4回戦

○ 佐藤 愛海 (新潟県)	ココ - メ	× 中村 陽向 (埼玉県)
---------------	--------	---------------

▷ 女子個人戦 準々決勝

○ 佐藤 愛海 (新潟県)	ココ - メ	× 勝目 真優 (神奈川県)
---------------	--------	----------------

▷女子個人戦 準決勝

× 佐藤 愛海 (新潟県)	— ×	○ 福岡 さくら (広島県)
---------------	-----	----------------

※ 準決勝で敗退 優勝した福岡選手に敗れはしたものの堂々3位入賞

▷男子個人戦 1回戦

○ 庄子 拓磨 (新潟県)	× —	× 上澤 虎ノ介 (岩手県)
---------------	-----	----------------

▷男子個人戦 2回戦

○ 庄子 拓磨 (新潟県)	× —	× 竹中 洸佑 (宮崎県)
○ 田畑 春樹 (新潟県)	× —	× 河野 悠斗 (熊本県)

▷男子個人戦 3回戦

× 庄子 拓磨 (新潟県)	× — × ×	○ 片岡 恭二郎 (徳島県)
○ 田畑 春樹 (新潟県)	コ —	× 石原 稜晟 (愛知県)

※ 庄子選手 3回戦惜敗

▷男子個人戦 4回戦

○ 田畑 春樹 (新潟県)	× —	× 高松 宥人 (栃木県)
---------------	-----	---------------

▷男子個人戦 準々決勝

× 田畑 春樹 (新潟県)	× — × コ	○ 杉本 恭史朗 (奈良県)
---------------	---------	----------------

※ 田畑選手、準々決勝で惜敗。ベスト8

「全国大会で学んだこと」

石山中学校 三年 田畑 春樹



全国大会に出場して大事だと思ったことは、「日常」です。大会は開催されたものの、例年どおりとはいかず、大会前の練習においても、大会での感染予防などでコロナ禍前に当たり前にできたことが、当たり前にできなくなっていました。

しかしこんな状況でも、自分が大会で力を出し切ることができたのは、共に練習してきた仲間のおかげだと思っています。また、個人戦前に新潟からたくさん応援してくれた方々の存在も大きかったと思います。



これからは、卒業後の進路先において、自分の剣道に磨きをかけることで、自分を応援してくれた方々に恩返しをしていきます。

「全中での経験」

小針中学校 二年 佐藤 愛海



私には姉と兄がいます。小学校三年生の時、姉が全中で日本一になるのを目の前で見ました。その日から、姉は憧れの存在から絶対に「超えたい」目標となりました。そして

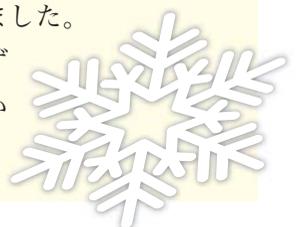
多かったです。その日は落ち着いて戦うことができました。先に一本取られる試合が多かったのですが「必ず取り返せる！」という自信が胸の中にあがり、自然と力みは無くなりました。1試合終わるごとに不安や迷いが消え、身体が軽くなっていく感じがしました。

この夏、目標としてきた舞台に私は立つことができました。それは仲間の協力や応援、先生方からの厳しくも温かいご指導のおかげだと本当に感謝しています。家では兄が練習に付き合ってくれたり、また明るく励ましてくれたり、いつも味方がいてくれたので苦しい時期も乗り越えることができました。

結果は個人戦3位。全国大会で3位は今までで一番いい成績なので嬉しい気持ちはもちろんですが、正直、悔しい気持ちの方がずっと大きいです。全中で負けたことで、自分の弱いところや足りないところがよく分かりました。剣道は技術だけで勝敗が決まらないということもよく分かりました。

全中当日は、不思議なほど緊張しませんでした。普段の私は、相手に取られると焦ってしまうことが

これからも感謝の気持ちを忘れず目標に向かって頑張っていきたいと思っています。



第42回 北信越国体剣道競技

期日：令和3年8月22日（日）
会場：長野県中野市民体育館

▷成年女子
リーグ戦

1位 長野県
2位 石川県
3位 新潟県
4位 福井県
※ 富山県は棄権

▷少年男子
リーグ戦

1位 石川県
2位 新潟県
3位 富山県
4位 福井県
5位 長野県

▷少年女子
リーグ戦

1位 新潟県
2位 福井県
3位 石川県
4位 長野県
5位 富山県



予定通り本国体出場を兼ねたミニ国体が開催されましたが、直後、本国体である三重国体は中止となりました。



第60回 全日本女子剣道選手権大会

期日：2021年09月19日（日）
会場：ジェイテクトアリーナ奈良

▷1回戦

○ 小川 梨々香 新潟（四段）	× -	× 阿部 智美 福島（四段）
× 風間 達子 新潟（三段）	- □	○ 大津 ももか 福岡（三段）

▷2回戦

× 小川 梨々香 新潟（四段）	- ×	○ 柿元 冴月 茨城（三段）
-----------------	-----	----------------



第69回 全日本剣道選手権大会

期日：令和3年11月3日（水）
会場：日本武道館

▷1回戦 惜敗

× 吉田 新（新潟）五段	- ×	○ 木島 飛翼（宮崎）三段
--------------	-----	---------------

「全国大会を終えて」

この度、全日本選手権に初めて参加させていただき、これまで稽古をしてくださった方々や関わってくださった方々に改めて感謝申し上げます。

当日は、全国の名だたる選手たちと同じ会場で竹刀を振ることができ、今までにない緊張感と、高揚感を味わうことができました。試合後には、「必ずこの舞台でまた試合がしたい」という気持ちが込み上げてきました。改めて、自分は剣道が好きで、修練に終わりがいいことを感じる事ができた大会だったと思います。

日頃、小針中学校の生徒とともに稽古を積む中で、

吉田 新
教えるだけでなく、私自身、生徒からもたくさんのお話を聞いてもらっています。これからも生徒の成長に携わりながら、共に成長し、全国大会で活躍できるように精進していく次第です。



題字作者・柳澤先生からの寄稿

「宮本武蔵の芸術にふれる」

吉川英治の歴史小説、宮本武蔵は、昭和を生きてきた我々の心の中に、その人間像は深く浸透している。そして武蔵の著した五輪書は、400年たった今なおお色あせることはない。また武蔵は、剣の強さだけではなく芸術の分野でもその才能を発揮した。

代表作ともいえる水墨画、「枯木鳴鶉図（こぼくめいげきのず）」（国指定重要文化財、大阪和泉市久保惣美術館）にみるその表現について考察してみたい。

枝の先に止まる鶉（もず）の姿、静かにして眼光鋭く獲物をねらう気魄は、敵と対する武蔵の目付そのものようだ。静寂の中に張りつめた空気、武蔵の到達した境地、高い精神性と宇宙観を表現している。紙面の中心を切り裂くように伸びた枯枝。一切の無駄を取り去った枝葉の表現、そこに止まる鶉の肢（あし）は細く鋭い強靱な線で描かれ、隙のない描きぶりには動植物の生態まで繊細な観察眼とすぐれた分析能力を見ることができる。禅宗絵画の影響を受けながらも専門の絵師や文人画などの表現には見られない兵法者ならではの世界観というものが表現されている。

武蔵作品は永青文庫（東京 熊本細川家の収蔵）などに名品が見られ、いずれも国指定重要文化財であり特別な公開でもない限り、なかなか本物を目にするにはできない。

ところが、いつでも武蔵芸術にふれられるところがある。私は仕事柄、年に何度も京都を訪れる。その折、必ず足を運ぶお寺がある。東寺（世界遺産）である。東寺は都の鬼門を守る真言密教の大本山で多くの堂塔が立ちならぶ。境内の北側に観智院という東寺の塔頭（たちちゆう）があり、その国宝の客殿に武蔵の描いた水墨画が残されている。



画は上段の間の床の間全体に「鶉図」があり部屋の大きな四枚の襖（ふすま）に「竹林」が描かれている（武蔵作品最大級）。この作品は、二羽の鶉が、今まさにおそいかからんとする緊迫感あふれるものである。一方、竹林図は、太く遅い竹が交差した奥行き深い構成で、武蔵芸術の世界に包まれる空間である。五輪書と合わせて画の中の武蔵と対峙してみたい。

この客殿には、ある仕掛けがあり、外敵への備えとして隠し扉や、忍びが天井に潜めないよう神張りの天井だったり、隠し槍などがあるそう。命をねらわれることもあったであろう武蔵が安心して逗留（とまりゆう）できる場所であったのかもしれない。

こうして武蔵芸術にふれて見て、五輪書にもあるように「兵法の利にまかせ、諸芸諸能の道となせば……一道は万芸に通ず」とある。挑戦し続ける武蔵の生き方に感銘を受けるのである。

もし時間があれば客殿の奥の写経の部屋に進まるとよい。塗香（ずこう）で手や身体を清め写経に望めば心が静まることだろう。

弘法大師空海の著した性霊集（しょうりょうしゅう）に「心を洗って香をなし、身を恭して華となす」という言葉がある。それぞれの時代を生きた二人の巨人に触れてみたい。 おわり

書・篆刻（てんこく）作家 柳澤 魁秀

（Kaisyu Yanagisawa）プロフィール

2002年 FIFA ワールドカップ公式エンブレム「スタンバージョン」を依頼され制作し世界デビューする。世界各国の美術展日本代表作家として招待参加。エキシビジョンやワークショップを開催。その活躍は、アメリカ、韓国、中国、チェコ、イタリアのTVに出演、各国メディアで紹介される。また国際的な教育賞である、白川静漢字教育賞を受賞！教育の現場やTV出演、講演等幅広く活躍中。国立トリノ大学（イタリア）日本語科書道講座講師、新潟県文化講師、日本体育協会公認スポーツ上級指導員、剣道教士七段。新潟県長岡市生まれ。



編集後記

🗡️のびやかで力強い、会報の新しい題字。書道と剣道、集中することが共通点であろうか。🗡️書道では世界で活躍し、剣道では七段教士。ふさわしい方にふさわしい題字を書いていただいた。🗡️新しい会報が会員の良きパートナーであるよう努めたい。🗡️今年の講習会で「剣道形は毎年のように変わる。変更には注意しなければならない」と教わった。新型コロナ禍で試合のルールも変わった。物事の大部分は、その時々で変化する。🗡️私たちは子供たちの指導者だからか、先生と呼ばれる。先生と呼ばれるからには、私たちも変化に対応するため、新しいことを学ばなければならない。年を重ねても自分自身をバージョンアップさせることが重要であろう。子供たちに間違ったことを教えないためにも。🗡️剣道の技術だけでなく、

🗡️く、ルールを身に着けることも修業の一つであろうか。考えさせられた講習会であった。🗡️新潟の剣士の活躍が目覚ましい。自らの努力と先生方の御指導の賜物だ。県全体のレベルが高いともいえるのではないかと。🗡️同じ県人として誇らしい。私も修行に励もう。



新潟県剣道連盟会報 第108号

令和4年1月吉日発行

事務局 〒950-0982 新潟市中央区堀之内南3丁目1-21 北陽ビル2F

TEL: 025-384-4784 FAX: 025-384-4794

<http://niigata-kenren.com>

新潟県剣道連盟のQRコードです。

ご利用ください。

